

**製品名: APAF1 (1L2) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe06987**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IP 1:20-1:50
分子量	142kDa

**抗原情報**

遺伝子名	APAF1
別名	APAF; APAF-1; APAF1; apoptotic peptidase activating factor 1; apoptotic protease activating factor 1; Apoptotic protease-activating factor 1; CED4; DKFZp781B1145; KIAA0413
遺伝子 ID	317.0
SwissProt ID	O14727
免疫原	ヒト APAF1 の組み換えタンパク質

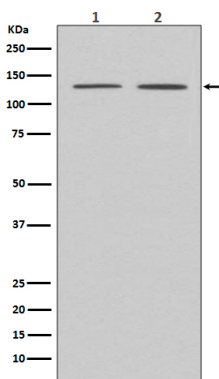
## 背景

APAF オリゴマー Apaf-1 は、シトクロム c 依存性のプロカスパーゼ 9 (Apaf-3) の自己触媒的活性化を媒介し、カスパーゼ 3 の活性化とアポトーシスを引き起こします。この活性化には ATP が必要です。アイソフォーム 6 はアポトーシスを誘導する効果が低いです。アポトーシスを起こすニューロンで E2F と p53 によって誘導されます。モノマー。シトクロム c と dATP が結合するとオリゴマー化します。オリゴマー Apaf-1 とプロカスパーゼ 9 は、それぞれの NH2 末端 CARD ドメインを介して互いに結合し、続いて成熟したカスパーゼ 9 が複合体から放出されます。プロカスパーゼ 3 は、プロカスパーゼ 9 との相互作用を介して Apaf-1-プロカスパーゼ 9 複合体にリクルートされます。APIP と相互作用します。選択的スプライシングによって、ヒトタンパク質の 6 つのアイソフォームが生成されます。オリゴマー Apaf-1 は、シトクロム C 依存性のプロカスパーゼ 9 (Apaf-3) の自己触媒的活性化を媒介し、カスパーゼ 3 の活性化とアポトーシスを誘導する。この活性化には ATP が必要である。アイソフォーム 6 はアポトーシス誘導効果が低い。

## 研究分野

p53;アポトーシス阻害;ミトコンドリアアポトーシス;アポトーシスの概要;アルツハイマー病;パーキンソン病;筋萎縮性側索硬化症 (ALS);ハンチントン病;小細胞肺がん;

## 画像データ



(1) HeLa 細胞溶解物、(2) MCF-7 細胞溶解物における APAF1 発現のウエスタンブロット解析。